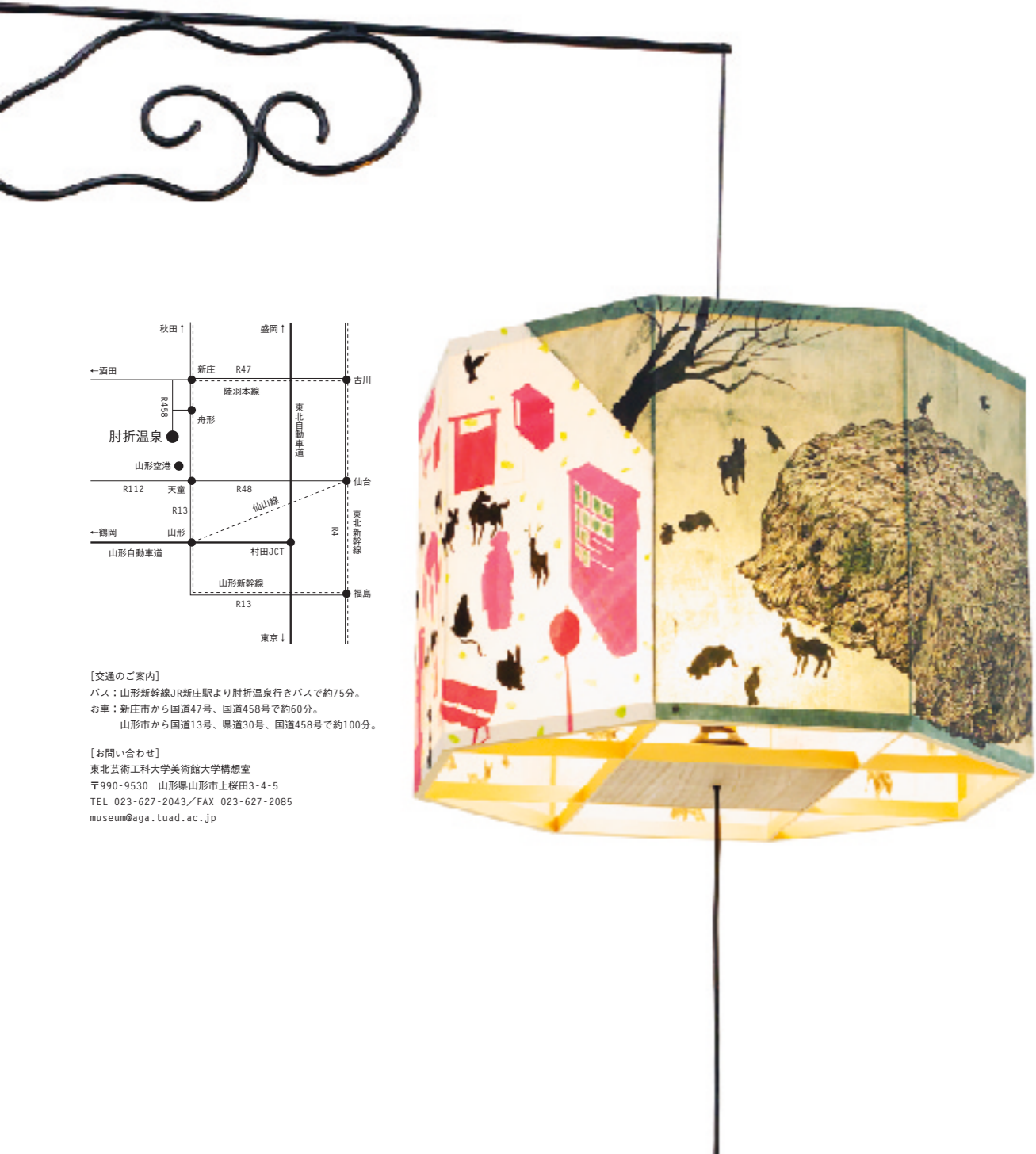




灯籠が照らしたす、肘折温泉1201年目の夏。



第2回灯籠絵巻賞会 東北北本サンスプロジェクト事業
ひじおりの灯
 HIJIORI Light project

2008年7月13日(日)〜8月20日(水)
 山形県最上郡大蔵村肘折温泉

本行時間：18時30分〜20時 ※雨天・強風時は点灯しない場合があります。
 点灯開始：7月13日(日) 18時30分 精霊流し8月17日(水) 19時
 閉灯時間：7月14日(日) 13時 点灯終了：8月20日(水) 20時30分
 主催：東北芸術工科大学 十周年記念事業(芸術祭) 協賛：大蔵村
 協力：アーツセンター(山形県大蔵村) www.takeda-art.jp/museum

カルアラの底に、水の街が見える、灯が揺れる

肘折温泉は千年を越える歴史をもち、いまも湯場の面影をとどめる温泉です。はるかな一万年の昔に生まれた、半径一キロのカルアラの底に、身を寄せ合うように、旅館や商店が建ちならんでいます。湧きいづる恵みの湯とともに、人びとは長い歲月をこの地に生きてきました。月山登拝口のひとつであり、修験道とのかかわりが深く、いまも季節ごとに修験の祭りがいとなまれています。

その、ひなびた温泉街を舞台として、わたしたち東北芸術工科大学との提携のもとに、「東北北本サンス in 肘折」というプロジェクトが動きだしています。古来より、温泉は「もてなしの文化」をもち、ひそかな芸術や文化の創造の現場でありつづけてきました。その温泉という場所が、秘める伝統の力を呼び覚ましながら、肘折温泉郷を「まるごと美術館」としてデザインしてみたい、そんな欲望に駆られています。そこから、あらたな湯治のスタイルが生まれてくるかもしれません。

この夏、ふたたび「ひじおりの灯」が、やさしく夜の温泉街を彩ることになります。ひとりでも多くの人たちに、あたらしい肘折の誕生に立ち会ってほしい、と心より願っています。

カルアラの底にたゆたう水の街にて……。

赤坂憲雄 東北芸術工科大学 本部長